

心地よい緑の中で、ひたちなかの魅力に出会える、交流・情報・創造拠点



市民がまちを知り、まちを愛するきっかけをつくる

新中央図書館の役割は、他の図書館や公共施設と連携した市全体の図書サービス向上に加え、来館者がまちを深く知り、新しい何かを始めるきっかけを提供することだと考えます。図書館が蓄積している「知」とまちの「魅力」が融合した情報体験を提供し、市民のひたちなかへの愛着を醸成する施設づくりを行います。

勝田駅周辺地区の賑わいを創出する

本計画と同時進行する「つながる中心市街地まちづくり計画」と連携し、まちの回遊性を高める施設づくりを行います。公園との一体的な整備を活かし、多方向からの人々の流れを引き込むことで、まちの賑わいを創出します。



1 公園内の豊かな緑に囲まれた、恵まれた環境・景観を生かした魅力的な図書館

公園との一体的な整備を活かした、心地良い図書館

1. 緑豊かな景観をつくる

図書館の内部から緑が望める環境をつくり、公園と一体となった図書館の魅力を高めます。

2. 光・風・緑あふれる図書館をつくる

読書環境に適した柔らかな間接光や、新鮮な空気、美しい緑の景観を取り入れ、快適な屋内環境を形成します。

3. 図書館と公園の連続性を高める

公園からアクセスしやすいアプローチなど、図書館と公園の連続性を高めることで、屋外との一体的な利用を促し、公園の恵まれた環境を活かします。

2 図書館利用が少ない世代、及び、市の施策に掲げる世代なども利用しやすい図書館

「各活動に集中できる環境」と「自由に使えるおらかさ」を併せ持つ

1. 独立性の高い活動エリア

施設内の機能を複数の活動エリアとして配置し、エリア間の相互利用を考慮しつつ、各エリアの独立性を高めることで、賑やかに遊びたい子どもや、静かに本を読みたい大人などが共存して利用しやすい環境づくりを行います。

2. 自由に使える共用スペース

各活動エリアの間に、テラスと一体となった共用スペースを設けます。子どもを見守りながら雑談をしたり、散歩の途中にふらっと立ち寄り雑誌を読める環境を整備するなど、普段図書館を利用しない人も、気軽に利用しやすいおらかな共用スペースを設けます。

3 シビックプライドの醸成に貢献する図書館、及び、図書館整備 市民と共につくり、育てる「まち・本・人」をつなぐ「シビックリング」

1. まちの魅力を発信する

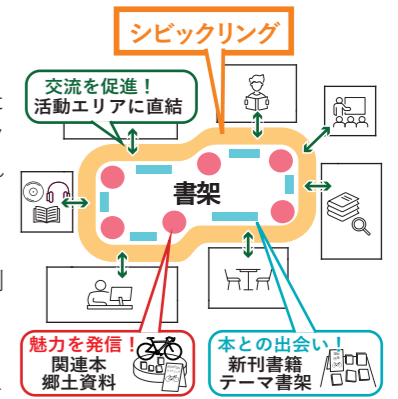
シビックリングは、中央の書架をリング状に囲む、まちの魅力が展示された回遊空間です。展示物と一緒に、まちの魅力をより深く知ることができる様々な情報コーナー（関連本や郷土資料等）を設けます。シビックリングを巡れば、ひたちなかの魅力に出会える図書館をつくれます。

2. 新たな本との出会いを生む

新刊書籍やテーマ書架を設けます。イベントに合わせたテーマ書架や新刊情報を流すサインージなど、本と出会う様々なきっかけをつくれます。

3. 人と人をつなぐ

シビックリングに面して活動エリアを配置し、お互いの活動が見える計画とします。利用者同士の偶発的な出会いを誘発し、交流を促します。



シビックリングのイメージ



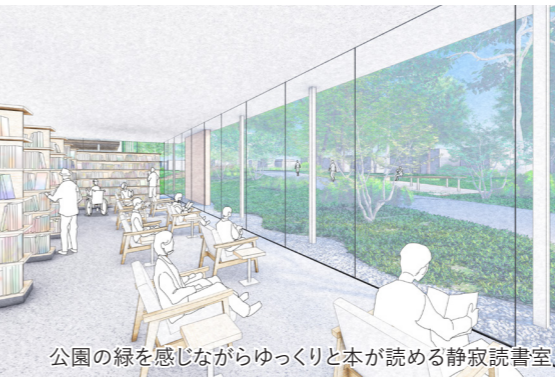
豊かな緑に囲まれたアプローチ



シビックリングに沿って展開される様々な展示空間



親子で楽しめる児童エリア



公園の緑を感じながらゆっくりと本が読める静寂読書室



公園から直接アクセスできる空間

※ 各図はイメージであり、今後変更となる可能性があります。